

日誌

日誌 月 日

山陽小野田市立山口東京理科大学

学籍番号()

氏名()

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
	17:00	
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 月 日

山陽小野田市立山口東京理科大学

学籍番号()

氏名()

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

日誌

日誌 月 日

山陽小野田市立山口東京理科大学

学籍番号() 氏名()

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択	
	薬学臨床の基礎			
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕		
	処方せんに基づく調剤			
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕		
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕		
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕		
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕		
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕		
	薬物療法の実践			
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕		
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕		
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕		
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕		
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択	
	チーム医療への参画			
	1	【②地域におけるチーム医療】		
	地域の保健・医療・福祉への参画			
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】		
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】		
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】		
5	【④災害時医療と薬剤師】			
独自評価	No	項目	選択	

2023年度山口東京理科大学 薬学部

薬局実務実習に向けた説明会

「地域の医療ニーズに対応した先進的な薬学教育に係る取組支援事業（へき地の在宅医療実務実習）の概要と連携について」

科目の概要

- 自由科目「**薬局病院特別実習**」(へき地の在宅医療実務実習)
3単位

薬局実習: 山口県薬剤師会より推薦された薬局1施設

- 評価方法

実習の出欠状況(欠席・遅刻・早退は原則不可)、指導薬剤師の評価(概略評価、実習態度等)、実習日誌・一週間振り返りの記録、実習報告会等をもとに、委員会が総合的に評価する。

1. へき地の在宅医療実務実習の概要と先生方をお願いしたいこと

2. 連絡事項

病院薬局実務実習(11週間)の概略評価項目(参考)

- 薬学臨床の基礎
 - 臨床における心構え
 - 臨床実習の基礎
- 処方せんに基づく調剤
 - 法令・規則等の理解と遵守
 - 処方箋と疑義照会
 - 処方箋に基づく医薬品の調製
 - 患者・来局者対応、服薬指導、患者教育
 - 医薬品の供給と管理
 - 安全管理
- 薬物療法の実践
 - 患者情報の把握
 - 医薬品情報の収集と活用
 - 処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)
 - 処方設計を薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)
- チーム医療への参画
 - 地域におけるチーム医療
- 地域の保健・医療・福祉への参画
 - 在宅(訪問)医療・介護への参画
 - 地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画
 - プライマリケア、セルフメディケーションの実践
 - 災害時医療と薬剤

病院薬局実務実習（11週間）の概略評価項目（参考）

(4) チーム医療への参画

②地域におけるチーム医療

- ・地域における医療機関と薬局薬剤師の連携を体験する。
- ・地域医療を担う職種間で地域住民に関する情報共有を体験する。

(5) 地域の保健・医療・福祉への参画

①在宅（訪問）医療・介護への参画

- ・在宅医療・介護に関する薬剤師の管理業務（訪問薬剤管理指導業務、居宅療養管理指導業務）を体験する。
- ・地域における介護サービスや介護支援専門員等の活動と薬剤師との関わりを体験する。
- ・在宅患者の病状（症状、疾患と重症度、栄養状態等）とその変化、生活環境等の情報収集と報告を体験する。

②地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画

③スライマリケア、セルフメディケーションの実践 ④災害時医療と薬剤

へき地の在宅医療実務実習の一般目標

山口県内の医療課題（薬剤師の地域偏在および在宅医療の需要増）に対する理解とその解決するマインドと実践力を有する薬剤師に必要な基本的事項を修得する。

(1) へき地の在宅医療における薬の管理や残薬の調整を実施し、ポリファーマシーを改善する能力

(2) へき地の在宅医療における居宅訪問や電話、他職種の情報による服薬フォローアップや薬物治療計画の判定および改善を行う能力

へき地の在宅医療における薬の管理や残薬の調整を実施し、ポリファーマシーを改善する能力

段階	4	3	2	1
	患者居宅等で残薬整理を行い、残薬があった場合には、患者および多職種から必要な情報を収集して原因を解明し、対応策を示し、必要に応じて医師に処方提案を行う。また、その内容を多職種に情報提供するとともに、介入依頼し、継続的なフォローアップを行う。	患者居宅等で残薬整理を行い、残薬があった場合には、患者および多職種から必要な情報を収集して原因を解明する。また、その内容を多職種に情報提供する。	患者居宅等で残薬整理を行い、残薬があった場合には、患者から必要な情報を収集し、多職種に情報提供する。	患者居宅等で残薬整理を行い、多職種に情報提供する。

居宅訪問や電話、他職種の情報による服薬フォローアップや薬物治療計画の判定および改善を行う能力

段階	4	3	2	1
	居宅訪問や電話、多職種の情報による患者の服薬状況や病状を把握し、生活環境等を含む服薬状況の改善が必要と判断された場合には、原因とともに患者背景を考えた上で適切な医薬品を選択し、医師に処方提案を行う。また、その結果を患者や多職種へ情報提供するとともに適切なタイミングで継続的なフォローアップを行い、その効果を再度判定する。	居宅訪問や電話、多職種の情報による患者の服薬状況や病状を把握し、生活環境等を含む服薬状況の改善が必要と判断された場合には、患者へ説明するとともに多職種と情報共有する。また、得られた情報から問題となる薬物を想定し、代替薬物を考案する。	居宅訪問や電話、多職種の情報による患者の服薬状況や病状を把握し、服薬状況の改善が必要と判断された場合には、患者へ説明するとともに多職種と情報共有する。	居宅訪問や電話、の情報による患者の服薬状況や病状を把握し、薬物の治療効果と副作用発現等を判定する。

薬局と大学の連携

【面会・電話などを活用した主な連携】

- ・ 実習説明会および学生との顔合わせ(本日)
- ・ 薬局実習期間中の教員による訪問
- ・ 登校日(新規:Zoom)に学生を介して実習の進捗状況を確認
- ・ トラブル発生時の対応 など

【ITシステムを活用した連携】

- ・ 日誌・一週間振り返りを介した実習の進捗状況を確認
- ・ メッセージ機能を利用した情報交換 など

・ 実習期間

2023年 1月22日(月)～ 2月18日(日)

・ 実習時間

原則として、**月～金曜日の9時～17時**

・ 実習期間中の学生と教員の意見交換(Zoom会議)

2023年 2月3日(土) 10時～12時

目的は、①実習の振り返り②実習遂行における問題点の抽出
③次週以降の目標設定 です。

◆在宅医療実務実習で学んだこと

◆在宅医療実務実習を通して興味を持った内容とその理由

実務実習指導・管理システムを介した連携

本学の薬局実習では富士フィルムシステムサービス株式会社の実務実習指導・管理システムを利用します。

<https://training-phm.fujifilm.com/Usersite>

実習生の自己紹介・自己目標の閲覧

大学教員や指導薬剤師との連絡(メッセージ(メール)の送受信)

日誌の閲覧とコメントの入力

到達率の入力

一週間振り返りの閲覧とコメントの入力

実習前及び本日 に先生方をお願いしたいこと

実習生の自己紹介・薬局実習の自己目標を確認

実習初日の集合時間、集合場所の指示

・ 持ち物の指示

- ・ 白衣(アイロンのかかった清潔なもの)
 - ・ 上履き(白を基調とした柄の無い運動靴)
 - ・ 名札(大学名と氏名が書いてあります)
- ⇒その他、必要なものがあればご指示ください。

服装、身だしなみの確認

実習生

自己紹介・薬局実習自己目標などを、に入力しています。

指導薬剤師

実習生が書いた内容を確認いただき、
実習初日のオリエンテーション等でご活用ください。

実習開始前

実習中 に先生方をお願いしたいこと

日誌・一週間振り返り（週報）の閲覧、コメントの入力

ルーブリック評価とそれに応じたフィードバック

実習報告会へのアドバイス

その他

日誌の確認、コメントの登録方法

①「実習日誌」をクリック

②当該の「実習日」を選択

③「指導薬剤師のコメント」欄に記入

④「登録」をクリック

(2) カレンダーから選択する方法もあります)

2024年01月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
1W	22	23	24	25	26	27
2W	29	30	31			

2024年02月

月	火	水	木	金	土	日
2W			1	2	3	4
3W	5	6	7	8	9	10
4W	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
2W	26	27	28	29		

変更不可日：2024年03月10日

実習全体の振り返り

実習生

実習が終わってから自宅に戻り、**実習日誌**を入力します。

(実習で学んだこと、感想、今後の目標など)

※薬局での入力が見たいとお考えの場合は、ご相談ください。

指導薬剤師

実習生が書いた日誌を確認いただき、可能な範囲でコメントを入力してください。

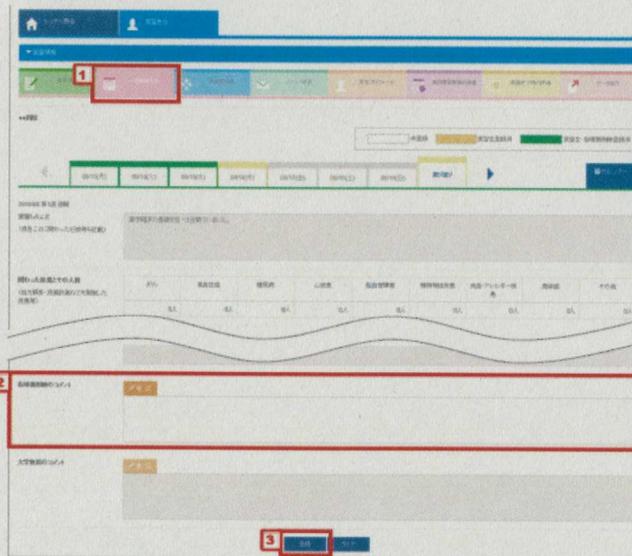
記載内容が適切でない場合には実習生への指導をお願いします。

実習中
定期的に

大学から実習生への指示

- ・ ITシステムの所定の欄に、その日のうちに入力する
- ・ 文字数の制限は無い
- ・ 読み返した時に実習内容がわかるようになるべく具体的に記載する
- ・ できるだけ、感想や今後の展望など、自分が感じたことや考えたことを記載する
- ・ 関わった疾患、服薬指導を実施した疾患とその人数を入力する

一週間振り返りの確認、コメントの登録方法



- ① 「一週間振り返り」をクリック
- ② 「指導薬剤師のコメント」欄に記入
- ③ 「登録」をクリック

実習生

1週間の実習の、**一週間振り返り (週報)**を入力します。

(月～日を1週とし、週の最後の実習日に入力)

指導薬剤師

実習生が書いた一週間振り返り (週報)を確認いただき、

指導薬剤師からの**コメント**を入力してください。

実習生の記載内容が適切でない場合には指導をお願いします。

実習中
週1回

大学から実習生への指示

- ・ この1週間実習したこと (項目ごとに関わった日数等も記載) を記載する。
- ・ 理解できたこと・理解できなかったことを記載する。
- ・ 実践できたこと・実践できなかったことを記載する。
- ・ 今週出来なかったことに対する改善策を記載する。
- ・ 施設・大学に伝えたいこと (指導薬剤師・担当教員を含む) を記載する。

実習生

到達度評価を入力します (適宜)。

指導薬剤師

概略評価の方法

実習生の成長度を、定期的 (1週毎) に**4段階**で評価してください。

	4	3	2	1
	患者居宅等で残薬整理を行い、残薬があった場合には、患者および多職種から必要な情報を収集して原因を解明し、対応策を示し、必要に応じて医師に処方提案を行う。また、その内容を多職種に情報提供するとともに、介入依頼し、継続的なフォローアップを行う。	患者居宅等で残薬整理を行い、残薬があった場合には、患者および多職種から必要な情報を収集して原因を解明する。また、その内容を多職種に情報提供する。	患者居宅等で残薬整理を行い、残薬があった場合には、患者から必要な情報を収集し、多職種に情報提供する。	患者居宅等で残薬整理を行い、多職種に情報提供する。
2/22				○
2/23			○	
2/27			●	
2/29		○		

○…実習生がつけた評価 ●…指導薬剤師がつけた評価

概略評価の方法の留意点

- 実習生の評価は、概略評価を適宜行うが、評価の進捗に変化が見られない場合は入力しない。
- 指導薬剤師の評価は、週一回（金曜日など）程度行う。

	4	3	2	1
	患者居宅等で残薬整理を行い、残薬があった場合には、患者および多職種から必要な情報を収集して原因を解明し、対応策を示し、必要に応じて医師に処方提案を行う。また、その内容を多職種に情報提供するとともに、介入依頼し、継続的なフォローアップを行う。	患者居宅等で残薬整理を行い、残薬があった場合には、患者および多職種から必要な情報を収集して原因を解明する。また、その内容を多職種に情報提供する。	患者居宅等で残薬整理を行い、残薬があった場合には、患者から必要な情報を収集し、多職種に情報提供する。	患者居宅等で残薬整理を行い、多職種に情報提供する。
2/22				○
2/23			○	
2/26			●	
2/29		○		
3/2		●		

○…実習生がつけた評価 ●…指導薬剤師がつけた評価

実習終了時 に先生方をお願いしたいこと

概略評価の最終入力と確認

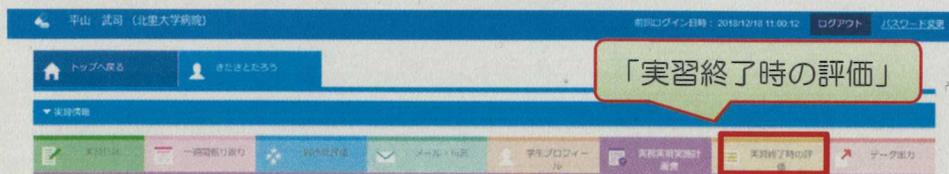
実習終了時の評価の入力

実習報告会への最終確認と承諾

指導薬剤師

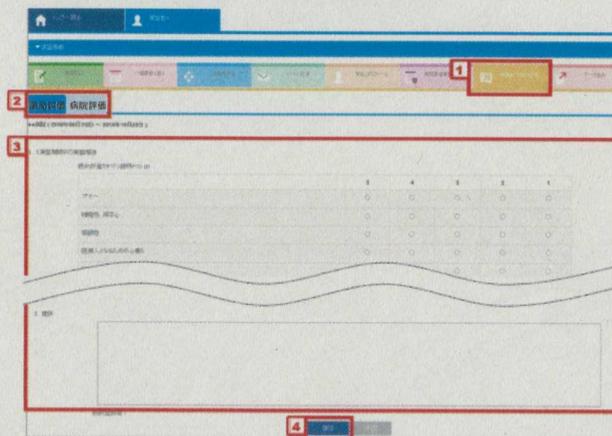
薬局実習の終了時の評価をしていただきます。

- 「**実習終了時の評価**」の入力をお願いします。



- 「実習終了時の評価」には、「実習期間中の実習態度」、「実習内容の習得度」、「概評」があります。
- 「実習期間中の実習態度」と「実習内容の習得度」は、**5段階**での評価の入力をお願いします。
「概評」については、実習全体に関するコメントや学生へのコメントなど自由にご記入ください。

実習終了時の評価の入力方法



- ① 「実習終了時の評価」をクリック
- ② 「薬局評価」をクリック
- ③ 「実習期間中の実習態度」、「実習内容の習得度」を5段階で評価し、「概評」を記入
- ④ 「保存」をクリック

実習期間中の実習態度

1. 1. 実習期間中の実習態度
最終評価カテゴリ

5 : 優れている ~ 3 : 普通 ~ 1 : 劣る

	5	4	3	2	1
マナー	●	●	●	●	●
積極性、探求心	●	●	●	●	●
協調性	●	●	●	●	●
医療人となるための心構え	●	●	●	●	●
社会的常識	●	●	●	●	●

1. へき地の在宅医療実務実習の概要と先生方をお願いしたいこと

2. 連絡事項

学生には以下の指導をしておりますが、行動が不適切な場合には、温かく厳しいご指導をお願い致します。

- ・ 実習中は**薬局内の規則**に従うこと
- ・ 自分勝手な行動は避け、不明な点は指導薬剤師や薬局職員に聞くことを躊躇しないこと
- ・ 目標をはっきり意識して、実習に臨むこと
- ・ 業務の妨げにならないよう、臨機応変に対応すること
- ・ **時間を厳守すること**、また時間に余裕を持って行動すること
- ・ 患者さんや薬局職員にきちんと挨拶すること
- ・ 言葉遣いに気をつけ、礼儀正しく振舞うこと
- ・ 体調管理に留意して過ごすこと
- ・ 備品を誤って破損したときは、ただちに指導薬剤師に報告すること

個人情報の守秘義務に関しては、特に厳しく指導しております。

・ **守秘義務を厳守すること**

- ✓ 実習を通して知り得た患者情報（氏名、生年月日など患者が特定される情報）は、実習の一環として薬局内で利用する場合を除いて、他言しないこと
- ✓ 知り合いが来局した場合も当然守秘義務があるので、家族等を含めて他言しないこと
- ✓ 薬局の経営に関する情報や薬局職員の情報も外部に漏らさないこと
- ✓ 薬局内での個人のパソコンの使用、データ管理は指導薬剤師の指示に従うこと
- ✓ 個人のブログ、SNS等への書き込みも禁止とする
- ✓ 個人情報保護法への対応については各施設の指示に従うこと

実習中の身だしなみは以下の指導をしております。
実習施設により規則が異なる場合は、学生に指示をお願い致します。

- ・ 医療現場であることを常に意識し、清潔感を第一に身だしなみを整えること
- ・ 白衣は洗濯した清潔なものを着用すること
- ・ 化粧は控え目にすること、つけまつげ不可
- ・ アクセサリー（ネックレス、ピアス、指輪等）は全てはずすこと
- ・ 香水不可、匂いの強い整髪料なども避けること
- ・ 茶髪不可、長い髪は黒色のゴムで束ねる、シュシュや大きな髪飾りは不可
- ・ 爪は短く切りそろえること、マニキュア不可、ネイル不可
- ・ ひげは剃ること
- ・ 携帯電話・スマートフォンは薬局内では電源を切り、持ち歩かないこと

教員一同、より良い薬局実習のために一生懸命努力して参ります。



ご理解とご協力を
よろしくお願い申し上げます

学内合同企業研究セミナー2024

日時：令和6年2月15日（木）・2月16日（金）13：30～16：00

開催場所：山陽小野田市立山口東京理科大学 体育館

竹内、佐藤が本セミナーの参加を希望する場合、実習を前倒して終了することがございますが、その場合、ご相談させていただきます。

日誌

日誌 月 日

山陽小野田市立山口東京理科大学

学籍番号() 氏名()

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点
(次回への反省・改善点)

添付資料

薬剤師のコメント

添付資料(薬剤師)